平成１７年　萩市議会１２月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通　告　者	摘　要
１	５２	波多野　勝	１２月　６日
２	４５	阿　部　義　美	
３	２５	中　野　伸	
４	６９	横　山　賢　治	
５	４	諸　岡　晧　二	
６	９２	小　林　広　海	１２月　７日
７	８	藤　井　郁　子	
８	８８	増　野　義　明	
９	２８	林　茂　樹	
１０	４９	嶋　村　不二男	
１１	３３	西　島　孝　一	１２月　８日
１２	８９	伊　藤　勇	
１３	６６	世　良　眞名夫	
１４	４８	西　村　生　則	
１５	３９	井　関　稔	

１６	７９	大　田　三　弘	１２月　９日
１７	１８	木　村　靖　枝	
１８	８６	山　木　好　弘	
１９	６０	宮　内　欣　二	
２０	９３	岡　　政　夫	
２１	８３	近　江　郁　宣	１２月１２日
２２	１	齋　藤　眞　治	
２３	１０	徳　倉　照　夫	
２４	２０	左　野　忠　良	
２５	９	山　田　和　男	
２６	７５	内　山　洋　一	１２月１３日
２７	６５	池　部　圭　一	
２８	１７	江　原　任　子	
２９	８７	広　兼　義　烈	
３０	６１	守　永　忠　世	

質問順位	1	質　問　者	波多野　　勝　　議　員

質 問 項 目	質　問　事　項　及　び　要　旨
1．観光行政	1．萩市の観光の現状と対策について
2．経済行政	1．地場産業の振興と企業誘致について

質問順位	2	質　問　者	阿　部　義　美　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．住宅対策について		人間が生活していく上で、もっとも大切であり基本となるものは衣食住でありますが、いまや経済大国となった日本において衣と食は十分に満たされ、むしろ飽和状態にあると申しても過言でありませんが、まだ満たされていないものに住の問題があります。 そこで住宅対策について、質問いたします。	

質問順位	3	質　問　者	中　野　　伸　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．交通安全対策について		１．国道３１５号に県道萩津和野線が交差する丁字路に信号機の設置を	
		丁字路角に道の駅（うり坊の郷）があり、国道、県道を出入りする車、また通学路で一般市民も利用し、危険性が大であるとの声が多いことから、信号機設置を要望するもので市長のお考えをお聞きする。	
		２．県道吉部下萩線の道路改良について	
		現在、道路改良工事が行われているが、福栄紫福地区とむつみ吉部地区の境界附近の幅員が極狭の箇所がある。	
		バス路線で消防車、救急車も往来し、また、民家の軒先が道路に接し、子供の飛び出し等も考えられ、大変危険である。	
		早急に改良を望むもので市長のお考えをお聞きする。	
		３．国道１９１号、奥玉江交差点（木間入口）の交通渋滞による交通事故の発生防止について	
		朝の通勤ラッシュ時、また観光シーズン等で玉江トンネルまでの渋滞がしばしば見られる。事故防止のため、玉江トンネル手前に予告信号等の設置をするとか、交通事故防止策について、市長のお考えをお聞きする。	
		４．市道悴ヶ坂線（鹿背隧道）トンネルの安全性について	
		この道路は歴史の道であり、また、山林所有者が山林の手入れ管理等される道でもある。	
		しかし、有料道路を避けて通行される方も多くある。歴史あるトンネルで簡単に崩壊するものではないが、最近の気象条件は大きく変化している。	
		トンネルの安全性について、どのようにチェックされているか、市長のお考えをお聞きする。	
２．教育行政について		１．県立高校再編整備計画に伴う県立徳佐高校高俣分校、県立奈古高校須佐分校の存続について	
		県教育委員会は、平成１７年３月に社会の変化や生徒のニーズの多様化、少子化の進展に対応し、中長期的な視点に立って『県立高校将来構想』を策定した。	
		中でも分校の募集停止が気になるところで、分校の入学	

	者に占める地元中学校からの入学者の割合が５０％を下回る場合は、募集停止を検討するとなっている。 　両分校とも、これまで地域の発展、活性化に大きく寄与し数々の歴史を積み重ね、歩みつつある地域の唯一の高校である。 　廃校ではなく存続で市民も注目している。市長のお考えをお聞きする。
３．新「萩市」の PR 作戦について	１．看板塔の設置について 　萩市に入る主要道路の玄関口に歓迎の意を込めて、新「萩市」の PR 用の看板塔を設置されてはどうか、市長のお考えをお聞きする。
４．身体障害者の利便向上対策について	１．誘導横断ブロックの整備について 　国道１９１号、市役所前通りの道路改良が進み、片側二車線となり、視覚障害者には遠く、横断に支障を来たす。 　音声誘導設備はあるものの、安全に横断できるよう誘導ブロック（線状、点状）の整備をされてはどうか、市長のお考えをお聞きする。
５．奥阿武宰判勘場（代官所）の復元について	勘場は江戸時代の幕藩体制下における「萩藩」の郷村支配行政組織の一つとして創設された施設であり、「萩藩」とのかかわりは親密で、勘場の復元に向け、市長のお考えをお聞きする。

質問順位	4	質　問　者	横　山　賢　治　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．観光行政について		１．市民球場跡地の利用計画について ２．高校統合後の萩商業高校の跡地利用計画について	

質問順位	5	質　問　者	諸　岡　晧　二　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．萩国際大学の今後について		１．民事再生法で３８億８０００万円の債務は	
		２．来年度の入学生の状況は	
		３．福祉系学部としての展望は	
２．福祉行政について		１．少子化対策について	
		２．高齢者福祉対策について	
		３．認知症対策について	
３．観光都市・萩の「おもてなし」対応について		１．食について	
		２．ユニバーサルデザインのまちづくりについて	
		３．はぎ温泉に対する観光客の反応は	
		４．官・業連携について	

質問順位	6	質　問　者	小　林　広　海　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．　農業の担い手対策について		最近の我が国の農業をとりまく状況は、食の安全・安心の確保の問題と併せて、農業従事者の高齢化、担い手の不足、耕作放棄地の増加等農業構造面で大きな問題を抱えている。 このような状況を踏まえ農水省は、１０月２７日平成１９年産から導入に向けた経営所得安定対策等大綱を決めた。 担い手を主体に農政転換を個別農家や法人では認定農業者であることが絶対条件となる。 品目横断的経営安定対策の対象は、認定農業者で４ｈａ集落営農組織は20ｈａと面積要件が絶対条件となる。 そこで、萩市の中山間地域では耕作面積４ｈａの認定農業者の育成は難しく、集落営農組織（特定農業団体、特定農業生産法人化）で対応していく必要があります。 そこで、次の三点について質問します。 １．特定農業団体や特定農業生産法人、新規確保に対する行政の支援、補助金等について 特に法人化を進める中で、これまでの優良事例発表等で感ずることは農閑期の仕事がなく対策が必要である。 そこで法人化した組織に対して、農閑期の作業に市有林の除伐・間伐・枝打ち等作業してもらうことで、市有林も立派になり、また、法人も農閑期の収入を上げることができ、支援になると思われる。市長の見解を尋ねる。 ２．集落営農の推進、生産組合の設立、特定農業団体、特定農業法人等の担い手育成・確保・設立に向けて、農業振興推進アドバイザーを専従班として、他に何人か入れて推進されてはどうか。 ①農業振興推進アドバイザーの氏名 ②これまでアドバイザーに就任されて５～6ヶ月経過しているが、これまでの活動報告 特に特定農業団体、法人化する場合、経理の一元化が求められているが各集落とも高齢化が進んでいて、特にこれらに対する支援が必要と思われる。農業振興推進アドバイザー等を中心とした推進班を作られたらと思う。市長の考えを聞きます。	

	３．全国では、05 年度目標として認定農業者 2 万人、特定農業団体４００、特定農業生産法人約２００新規確保を掲げているが、本市の目標等についてお尋ねします。

質問順位	7	質　問　者	藤　井　郁　子　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．環境に配慮した循環型社会の構築について		１．環境面での良質で安心安全な市民生活の確保、学校の取り組み	
		大気、水、生活排水、ゴミ(分別、野焼き禁止、買物袋)	
		２．山林、河川、海域の一体的環境保護と循環型産業の育成	
		市民活動・産業団体への助成、環境保全型公共事業への転換による雇用創出（失業対策)、長門市のＥＭ菌放流事業	
		３．環境基本条例制定、環境基本計画策定への取り組みと、現状	
２．少子化対策と男女共同参画政策について		１．少子高齢社会を踏まえた、萩市の将来像	
		人口構成、産業の担い手、税の負担と給付等社会構造の激変に備える各分野における予測と政策	
		２．少子化の改善と男女共同参画社会政策の基本認識	
		３．男女共同参画推進懇話会の現状と計画策定への課題	
３．萩国際大学への公的援助の成果と将来展望		１．公的資金を投入したことにおける説明責任と結果責任	
		２．ゴルフ場経営との関連と地域への影響	
		３．今後のあり方に市民の叡智を活かす方策	
４．障害者・高齢者の外出支援サービスの効果的施策		１．障害者の外出支援と高齢者の在宅介護通院支援に対する共通認識と支援体制	
		「福祉タクシー」を障害者と在宅介護高齢者が利用できる制度で、サービスの維持と介護保険料の維持を図る	

質問順位	8	質　問　者	増　野　義　明　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．人材育成とボランティアについて		人材育成には、農林漁業後継者の育成、平凡であっても社会に貢献できる育成もあり、幅が広く奥行きが深く一言で語れる問題ではありませんが、ボランティアについては阪神淡路大地震、新潟地震、最近では台風１４号による被害にボランティアの皆さんが大変活躍され、今やいろんな分野で重要視されております。	
２．県道宇田須佐線の危険箇所について		この度、山際を刈っておりましたら崩落の恐れがあり、早急に手を打つ必要があると思われますので、土木にその旨伝えていただきたい。	

質問順位	9	質　問　者	林　　茂　樹　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．平成１８年度予算の編成にあたって		１．基本的な考えを聞く	
		２．財源確保の見通しについて聞く	
		３．予定される主要事業はどのようなものか	
２．弥富診療所の医師の確保について		１．その後の状況はどのように進展しているか	
３．医療費の抑制策について		１．予防医療の観点から地域（小単位）健康講座等のきめこまかい啓発活動も必要ではないか	
４．情報ネットサービスについて		１．ケーブルネット事業の今後の取り組みについて	
		２．未整備地域の今後の取り組みについて	

質問順位	１０	質　問　者	嶋　村　不二男　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．認知症対策について		１．認知症高齢者が姿を消した時の捜索のネットワーク作りについて	
２．下校後の小学生の安全対策について		１．共働き家庭の小学生を親が帰宅するまでの時間、近所保育について	
３．道路行政について		１．主要県道萩川上線（上野バイパス）の整備進捗状況と今後の見通しについて	

質問順位	１１	質　問　者	西　島　孝　一　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．道路行政について		１．今魚店・金谷線の進捗状況について （城東橋より国道１９１号まで）	
２．合併後の市政運営について		１．新市の一体感を醸成し、また、各地域における諸課題に対応するため、今期各地区でタウンミーティングが開催されたが、その中での問題点等についてどのように方向付けをされるのか。	

質問順位	１２	質　問　者	伊　藤　　勇　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．平成１８年度予算編成方針について		国における平成１８年度予算の基本的な方針による地方への財源配分は平成１７年度に続き従来よりの歳出改革路線を堅持・強化して、基礎的財政収支の改善を図り、国債発行についても極力抑制されるとのことから、畢竟地方交付税、国庫補助負担金等の主たる依存財源の徹底した見直しと削減が強く懸念される。 一般財源(自主財源)の乏しい本市においても厳しい財源不足が容易に予想され、動向によっては、財政運営への影響が考えられる。 これが現実にあって、明年度予算編成に際して如何なる方針と基本姿勢で予算見積もりが実施されるか考えを問う。	
２．教育行政について		わが国における子ども達の学力・体力の現状について、昨年末に国内外関係機関より公表され、調査の結果、読解力が大幅に低下し、更に体力・運動能力調査では体格は向上しているものの身体能力の低下が指摘され、将来的に国民全体の生活習慣病やストレスに対する抵抗力を引き起こすこと、社会全体の活力が失われる事態に発展しかねない現状にある。 各種関係機関ＯＥＣＤ加盟国・国際教育到達度評価学会・文部科学省の学力調査及び体力・運動能力調査結果を踏まえて次世代を担う子ども達の健全育成のために市教委(学校)として今後期待される確かな学力向上と体力の増強・耐え忍ぶ(忍耐力)ことのできる教育をどう進めるべきか、現状及び今後の改善策を問う。	

質問順位	１３	質　問　者	世　良　眞名夫　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．市長の政治姿勢を問う		１．合併後の萩市の全体像に対する見解と、平成１８年度当初予算編成の考え方	
		２．官から民への取り組みについて	
２．人口減少対策		１．合併後にも人口減少傾向であるが、歯止め対策と総合的な対策は	
３．梅林公園の維持管理を問う		１．植栽されている梅の木の生育状況と、今後の梅林公園の維持管理は	
４．観光振興対策		１．フィルムコミッション事業に関わる、萩市への経済効果と取り組みについて	
５．教育問題		１．学校がかわる、地域がかわる（地域教育の重要性と必要性について）	

質問順位	１４	質　問　者	西　村　生　則　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．行財政改革について		１．職員数の減員について（前回の答弁を踏まえての質問）	
		２．職員の意識改革について	
		①職員のコスト意識	
		②従前からの創意工夫意識	

質問順位	１５	質　問　者	井　関　　稔　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．遊休財産の利用について		１．田万川地域遠見団地の取り組みについて	
		①今後の利用方針とその取り組みについて	
		②分譲宅地として整備し、格安で売却するお考えはないか	
		③地元事業者等に現状のまま売り渡して、住宅地として開発させるお考えはないか	
		④団塊の世代への売り込みは	
		２．旧小川中学校の利用方針とその取り組みについて	

質問順位	１６	質　問　者	大　田　三　弘　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．萩博物館について		１．入館料と運営管理費（人件費・交際費を含む）の差の市負担額は年間いくらか	
		２．建設市債の返済計画について	
２．人々が集まる萩市について		１．交通便の改善は市民一体となった、不退転の運動展開について	
		２．運動資金の予算化と募金について	

質問順位	１７	質　問　者	木　村　靖　枝　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．水産行政について		１．竹を利用した漁礁沈設の取り組みについて	
２．水道行政について		１．上水道の濁り水対策について	
３．経済行政について		１．中心商店街の活性化計画の進捗状況について	

質問順位	１８	質　問　者	山　木　好　弘　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．弥富診療センターの医師確保は		むつみ地区の市長とのタウンミーティングで、医師の見通しはついたと質問に答えられたと聞くが、事実ならいつから開業されるか入院施設の復活と、須佐診療センターの活用の計画を発表されたい。	
２．ケーブルテレビの設置について		小川地区のタウンミーティングで市長は、18 年度予算はこれから組むので、合併特例債か何かの事業で考えると答弁されたが予算化できますか。	
３．アスベストについて		水道管布設替え、18 年度にできるか。	
		湊　　６０ｍ　Ｓ３５年	
		中組　　１５０ｍ　Ｓ３５年	
		大久保　２５０ｍ　Ｓ３５年	
		１．国の助成基準の対象となるか。	
		２．田万川コミュニティーセンター（大集会室の鉄筋梁Ｓ４９年建設）	
		実態調査結果では８．５％含有率とのことだが、いつどのように工事されるか。	
		３．民間の調査はどうされますか。	
		４．国の助成がない場合は、萩市として国に助成もしくは交付税措置の要望を。	

質問順位	１９	質　問　者	宮　内　欣　二　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．一般廃棄物処理基本計画と資源循環型のまちづくりについて		１．一般廃棄物処理基本計画とゴミ処理基本計画の基本姿勢をどう考えるか。目標値をどこにおくか。	
		２．３Ｒの推進をどうするか。排出総量の削減、再使用率の向上、再資源化の促進をどのように図るか。	
		３．ゴミ溶融炉、ガス化溶融炉、灰溶融炉についてどう考えるか。	
		４．第２リサイクルセンター建設に関わる「杉並病」対策について。	
		５．生ゴミなど堆肥化可能廃棄物の循環システムの構築について。	
２．産業振興と地域活性化について		１．農林水産業と観光産業の連携について	
		２．農業担い手確保にどんな手法を考えているか	
３．地域自治の推進について		１．地域自治活動への支援をどんな形で行うか	
		２．補助金の一元化と住民組織への影響について	
４．弥富診療所常駐医師の確保と地域医療について		１．弥富診療所医師の確保はどこまで進んでいるか。	
		２．地域医療の医師確保のため今後どのような方策を考えているか	

質問順位	２０	質　問　者	岡　　政　夫　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．萩タウンミーティングのあり方について		１．今後どのように対話の機会を設けられるのか。旧萩市では２年に１回実施されておられたが、福栄地区においては地域住民の要望もあり、年１回はぜひ開催していただきたい。	

質問順位	２１	質　問　者	近　江　郁　宣　　議　員

質 問 項 目	質　問　事　項　及　び　要　旨
１．生涯スポーツの振興について	１．スポーツと福祉（市民の健康増進）について、市長の見解を問う。
２．人口定住問題について	１．若者の就労の場の確立を
３．道路問題について	１．県道萩篠生線のバイパスで市内の交通緩和を。 ２．国道１９１号（大井馬場）～県道萩篠生線（福井吉田）間のバイパスは
４．萩往還道について	１．大谷（大屋）観音橋の整備
５．学校給食材料の調達について	１．調達方法の変更が及ぼす地域経済への影響

質問順位	２２	質　問　者	齋　藤　眞　治　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．水道事業について		安心のできる「飲料水」の供給	
		１．「マンガン」への対応	
		２．上下水道部の体制	
		３．水道事業管理者の責務	
２．萩市の機構について		１．本庁と総合事務所との連携	
		タウンミーティングでの課題の取扱い	
		２．機構の検証と見直し	
		内部及び外部からの意見聴取	
３．市民球場跡地の整備について		１．整備計画の市民への情報公開	
		整備計画の具体的な現況	

質問順位	２３	質　問　者	徳　倉　照　夫　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．萩市が将来に向けて生成発展していくための指針は		１．産業については何を基幹としていくか	
		２．関連産業はどういうものがあり、またどのような産業に波及していくか。	
２．雇用について		１．現在の就業人口にみる産業の動向は	
		２．これから雇用が見込まれる産業は	
		３．若年層の雇用について	
３．現在業界からの要望はどの程度あるのか		１．日本標準産業分類の大分類別に尋ねる	
		２．要望を政策に反映する時、優先順位があるのか。あれば、どういうことを基準に実施されているか。	

質問順位	２４	質　問　者	左　野　忠　良　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．離島の高齢者福祉、医療対策について		１．市民病院における患者の付き添い及び看病人（家族）に対する待機室等の確保、提供について	
		２．患者の入院時及び家族の介護、見舞いの際、船賃にかかる経費を福祉、医療券とする割引・補助制度を導入する考えはないか	
		３．離島における地域型の総合福祉施設の設置について	
２．離島の廃棄物処理について		１．廃棄自動車の船舶輸送について	
		２．市で処理できない不燃物の船舶輸送について	

質問順位	２５	質　問　者	山　田　和　男　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．陶芸の村整備事業について		１．今後の計画を具体的に示していただきたい	
２．地域活性について		１．自主運営組織の創設について	
		２．複数の集落自治について	

質問順位	２６	質　問　者	内　山　洋　一　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１.「道路」の問題について		１．萩有料道路の無料化の取り組みについて	
２．財政状況と今後の主要な事業について		１．市債（借金）残高６５０億円のうち過疎債の残高について	
		２．来年度以降に多額の出費となるものは、下水道工事以外には何が予定となっているかについて	
３．萩国際大学について		１．その後の進捗状況について	
４．弥富診療所の医師確保について		１．進捗状況と今後の対応について	

質問順位	２７	質　問　者	池　部　圭　一　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．萩の原点 ～萩城の復元について～		１．萩城の復元について市長の所見を尋ねる。	
２．ニュー田町商店街の可能性について ～萩劇場の新たな試み～		１．新たな活性化としての萩劇場に、行政として支援・協力すべきと思うが。	

質問順位	２８	質　問　者	江　原　任　子　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．新エネルギー開発にかかる事業の取り組みについて		風力発電所の建設について 　自然エネルギー「風」の利用により風車を回転させて、電気エネルギーを取り出す事業の推進について、これからの地球環境を考慮し、また観光資源にとどまらず美しい海岸線の「海風」を活用できる無限の地域資源を有する都市として「風力発電」への積極的な取り組みを。	
２．若者定住対策について		雇用促進について 　市内の事業所においても来年度の採用計画等立てられており、求職者にとっても狭き門の厳しい就職活動が繰り広げられています。 　景気を反映して契約雇用が多く、最近では正規の職員採用控えが目立ち、高卒大卒の若者も地元での就職を断念して他市へ移転する実態です。（大手企業を目指すわけではない）パートや１年契約でなく就職志望先に希望の持てる、努力次第では正規採用もありうるといった体制づくりが必要と考えます。厳しい経済状況下ではありますが、将来の萩を支えゆく若者の定住に一層の企業努力を願い、官民一体となっての推進を期待します。	

質問順位	２９	質　問　者	広　兼　義　烈　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．　平成１８年度の萩市の重点施策と予算に関すること		１．重点施策に関して	
		①１８年度の重点施策を開示説明いただきたい。	
		②重点施策を推進するための主要な事務・事業はどのようなものが計画されているのか。	
		③最大の課題は人口減少に歯止めをかけることにある。そこで、	
		イ、若者定住促進に対する施策を問う。	
		ロ、定住促進には産業振興と雇用の場の確保が欠かせないところで、その対策について問う。	
		ハ、子育て支援について新たな取り組みはあるのか。	
		④中山間地域（漁業集落を含む）対策について	
		イ、農業振興に関し、重点的に取り組まれる事項は何か。	
		ロ、漁業についてはどうか。	
		⑤社会資本（施設整備を含む）に関して	
		イ、市道整備の基本方針について問う。（災害等に対応できる整備が急務）	
		ロ、飲料水の確保に困っている集落、家庭の解消策について問う。	
		ハ、下水道（類似施設を含む）整備の方針を問う。	
		⑥高齢者福祉に関して	
		イ、高齢者世帯、独居老人の生活不安（身体の不自由、病気、死）解消の手助けにどう対応するのか。	
		ロ、地域の保健、介護、医療の充実をどのように図っていくのか。	
		２．予算に関して	
		①１８年度の一般会計予算はどの程度の規模になるのか。	
		②歳入について、市税の見通しはどうか。	
		③地方交付税の見通しはどうか。	
		④予算に占める起債の割合は、どの程度を予定しているのか。	
		⑤地域の均衡ある発展こそ、新しい市が目指すところである。文化、地域性が異なることを十分配慮した予算にし	

	ていただきたい。
	⑥旧町村は、農業予算が大幅に削減されるのではと危惧している。農業振興が頓挫しないよう、地域の実情にあった予算編成を期待しているがどうか。
	⑦重点施策の推進が可能な予算を期待しているが、配慮されているのか。

質問順位	３０	質　問　者	守　永　忠　世　　議　員
質 問 項 目		質　問　事　項　及　び　要　旨	
１．森林セラピーの推進について		１．地域振興の一助として、里山、林道、道の駅等の利活用	
２．観光事業の今後のあり方、将来について		１．現在の名所、旧跡を守りつつ将来に向けての方策	